

根釧の経済概況（令和6年9月末基準）：根室管内

水産：管内の水揚数量合計は前年同期比0.1%減少、金額は同7.7%増加。

①根室管内総水揚高（各年1～9月）

根室市		根室管内3町		根室管内合計				
数量(t)	金額(百万円)	数量(t)	金額(百万円)	数量(t)	前年比増減	金額(百万円)	前年比増減	
R6	37,297	14,410	38,728	11,772	76,025	▲0.1%	26,182	+7.7%
R5	33,311	12,009	42,852	12,300	76,163	+5.4%	24,309	+7.5%
R4	29,962	10,443	42,280	12,167	72,242	▲17.6%	22,610	▲5.6%
R3	34,748	11,257	52,890	12,691	87,728	+16.9%	23,948	+28.5%
R2	31,957	9,488	43,089	9,141	75,046	▲19.0%	18,629	▲27.5%

②秋サケ漁(根室管内・各年9月末)

数量(t)	前年比増減	金額(百万円)	単価(円/kg)	
R6	1,854	+24.0%	1,729	932
R5	1,494	▲17.2%	1,027	687
R4	1,808	▲21.0%	1,753	969

③サンマ漁(根室・各年9月末)

数量(t)	前年比増減	金額(百万円)	単価(円/kg)	
R6	17,941	2.1倍	8,667	483
R5	8,364	+34.6%	4,215	504
R4	6,210	▲7.4%	3,558	573

・R6年9月時点での数量は1,854tで前年比24%の増加。
 ・目廻りは2.90kgで前年同期とほぼ変わらない。単価が932円
 で前年同期より上昇したことで、金額は17億29百万円と前年
 よりも大幅に増加した。根室管内では特に羅臼での漁獲量が
 前年同期で2倍近く増加した。海水温上昇やプランクトン減少
 により長期的に減少傾向で推移するとみられる。

・根室のサンマ水揚数量は17,941tで前年比2.1倍、金額は86億67百
 万円で前年比2倍となった。北海道の港から近い海区での水揚げが
 多く、サンマ漁の解禁日を早め、統一したことで9月末時点での総
 量が増えたとみられる。今年の魚体は昨年よりも良型であった
 が、近年、南下しない親潮により、海水温上昇やプランクトンの
 減少が引き起こされ魚体は年々小さくなっている。

酪農：根室、釧路管内ともに4～9月生乳生産量は、前年実績を上回る。

根室管内生乳生産量（各年4～9月）

年度別	数量(t)	前年比
R6	683,165	+0.8%
R5	677,352	▲4.8%
R4	711,778	▲0.2%
R3	713,526	+2.9%

地区別	数量(t)	前年比
全道	1,982,332	+0.1%
十勝	639,254	+0.4%
北網	298,723	+1.6%
根室	421,766	+1.1%
釧路	261,399	+0.3%

生乳生産量（4～9月）※生乳生産量はホクレン調べ

・R6年度の根室管内生乳生産量の上半期（4～9月）実績は683千tと前年
 同期比0.8%増加。
 ・根室管内の生乳生産量は前年比増加。根室管内の月別では、6.7月は前
 年比減少したものの、昨年よりも猛暑の影響が少なく、安定した生産量で
 推移している。地区別でも全地区で前年比増加。
 今後の需給動向等

・長引く飼料・資材代の高騰から、多くの酪農家が自給飼料により賄お
 うとする動きがみられており、増頭増産運営だった中小規模の酪農家
 は、自給飼料のみで賄える頭数を飼育するよう規模を縮小する傾向も。
 また、コスト削減のため乾乳期には粗飼料のみ、泌乳期にたくさんの配
 合飼料を与える方法をとる酪農家もいる。
 ・気候変動やコスト高騰など、変化する環境のなかでの安定供給に向け
 た取組と併せて、ドライバー不足も深刻であり、特に広域流通量が多く
 なる需要期の計画的な集荷配送の取組みも注力していく必要がある。

○R6年度根室管内月別伸び率(前年同月比・%)

4月	+2.4%	5月	+0.9%	6月	▲1.8%
7月	▲1.3%	8月	+3.5%	9月	+3.6%

家畜取引：根室市場は取引頭数で前年同期比7.1%増加、金額は同2.4%増加。

□根室市場取引高（各年4～9月）

	取扱頭数(頭)	前年比	金額(百万円)	前年比	単価(千円)
R6	21,595	▲7.1%	4,504	+2.4%	208
R5	23,265	+2.2%	4,395	▲2.6%	188
R4	22,748	+1.4%	4,514	▲20.9%	198

□別海市場取引高（各年4～9月）

	取扱頭数(頭)	金額(百万円)
R6	3,414	389
R5	3,801	415
R4	4,458	620

	4月	5月	6月	7月	8月	9月
初生ホルスタイン牝 (単位：千円)	27.5	57.9	94.5	33.1	8.5	4.8
肉牛ホルスタイン経産牛 (単位：千円)	169.9	197.1	202.6	184.7	170.8	173.4

貿易：輸出・輸入ともに前年同期比減少。

(R6年1月～9月貿易実績・根室税関支所発表・()内前年同期比)

- 【総額】53億66百万円 (▲2.0%) 外国貿易船の入港隻数239隻(前年比▲24隻)
- 【輸出】40百万円 (▲11.0%) ひも・網・ケーブル0.4百万円(全増)、一般機械16百万円(▲15.3%)、輸送用機器1百万円 (▲89.7%)
 その他22百万円 (+54.3%)
- 【輸入】53億25百万円 (▲1.9%) 生鮮魚介類 52億95百万円 (+2.9%) 冷凍魚介類 30百万円 (▲89.4%)

- ・輸出…ひも・網・ケーブル、その他が昨年よりも増加したものの、一般機械の減少、輸送用機器の大幅な減少で全体としても減少。
- ・輸入…生鮮魚介類は増加したものの、冷凍魚介類が大幅に減少し、全体としても減少。

根釧の経済概況（令和6年9月末基準）：釧路管内

水産：釧路港はサンマやマダラが好調で、1～9月累計数量は前年同期比7.5%の増加、単価は変わらず金額は同比8.7%増加。

①釧路港総水揚高（各年1～9月）

	全体			
	数量(t)	前年比増減	金額(百万円)	前年比増減
R6	133,164	+7.5%	8,468	+8.7%
R5	123,771	+5.8%	7,785	+18.2%
R4	116,894	▲12.4%	6,585	+20.1%
R3	133,539	+2.8%	5,480	+7.7%
R2	129,899	+40.1%	5,085	+6.5%

	(うち、スケソ)				
	数量(t)	前年比増減	金額(百万円)	前年比増減	単価(円/kg)
	10,102	+12.0%	544	▲5.4%	54
	9,014	▲53.9%	576	▲44.7%	64
	19,574	▲25.3%	1,043	▲6.1%	53
	26,213	+0.1%	1,111	▲0.9%	42
	26,170	+25.2%	1,122	▲10.3%	43

②釧路港魚種別水揚高(R6年1～9月)

主な魚種	数量(t)	前年比増減	金額(百万円)	前年比増減
サンマ	44	2.3倍	15	8.7倍
サケ・マス	35	▲2.7%	29	▲1.5%
スケソ	10,102	+12.0%	544	▲5.4%
マダラ	5,058	+48.6%	1,057	+55.8%
ホッケ	9	1.5倍	3	2.2倍
イカ	40	▲28.5%	9	▲60.3%
カレイ類	392	▲47.0%	74	▲31.2%
イワシ	116,303	+8.1%	6,208	+6.2%
サバ	-	-	-	-

③厚岸港水揚高(各年1～9月)

	数量(t)	前年比増減	金額(百万円)	前年比増減
R6	6,083	▲9.6%	2,845	+10.3%
R5	6,734	+61.8%	2,578	+14.4%

④厚岸港魚種別水揚高(R6年1～9月)

主な魚種	数量(t)	前年比増減	金額(百万円)	前年比増減
サンマ	699	+39.9%	344	+48.1%
カキ	464	+2.4%	671	+10.9%
アサリ	1,029	+11.7%	732	+5.2%
ツブ	608	+5.5%	331	+23.2%
その他	3,281	▲23.3%	766	▲1.3%

【釧路港水揚】

- ・1～9月の釧路港は、水揚量が133,164tで前年同期比7.5%増加。金額は84億68百万円で、同比8.7%増加。魚種別では、サンマ、マダラ、ホッケ、イワシは数量、金額ともに前年同期比で増加。スケソは数量は増加したものの、金額は減少。
- ・釧路港の主力であるマイワシは今期まで好調に推移しているものの、低水温を好むマイワシの産卵場に温かい黒潮が継続して流れ込んだことで親魚が近づきづらい状況となり、資源量減少の可能性があると考えられ今後は漁獲量の減少の可能性もある。

【厚岸港水揚】

- ・1～9月の厚岸港は、水揚量が6,083tで前年同期比9.6%の減少、金額は28億45百万円で同比10.3%の増加。
- ・厚岸港の主要魚種は数量、金額ともに全種増加しており、特にサンマは数量、金額ともに大幅に増加、ツブの金額も大きく増加した。
- ・単価はあさりのみ下落し、それ以外の魚種は上昇した。

製紙：市内製紙工場のR6年度上半期（4～9月）生産量は、前年同期比0.8%増加。

観光：R6年4～9月スポット別の観光客入込数

※peachは集計対象外

- ・釧路市のR6年度上期（R6年4～9月）の観光入込客数は、632千人で前年比3.0%増加。
- ・航空（道外）151千人（前年比+2.6%） 阿寒湖遊覧船 66千人（同+5.3%） 丹頂鶴自然公園（有料） 39千人（同+10.7%） 湿原展望台 62千人（同+17.4%） MOO 312千人（▲0.5%）

貿易：輸出は前年同期比増加、輸入は同比減少。

(R6年1～9月貿易実績・釧路税関支所発表・()内前年同期比)

【総額】 977億16百万円（▲20.9%） 釧路港外国貿易船入港数254隻（前年同様数）

【輸出】 91億10百万円（+7.0%） 魚介類・同調整品18億8百万円（+18.8%）、鉄鋼くず32億58百万円（+15.1%）
動物性油脂21億57百万円（▲12.1%）、紙類・同調整品12億79百万円（+32.0%）

【輸入】 886億5百万円（▲23.0%）

肉類・同調整品 10億9百万円（▲23.8%） 魚介類・同調整品45億29百万円（▲2.8%） 米33億81百万円（▲58.1%）
とうもろこし 262億53百万円（▲13.0%） 飼料155億56百万円（▲9.5%）
石炭90億30百万円（▲49.5%） 肥料 139億90百万円（▲32.7%）

全国・全道の経済概況（令和6年9月末基準）

住宅着工戸数

公共工事請負高

企業倒産動向

訪日外国人延宿泊客数

全国

■ R6年4～9月着工戸数は412千戸で前年同期比0.7%減少。内訳別の前年比は持家と分譲が減少、貸家と給与は増加した。特に給与は大幅に増加したものの、全体は減少。

月別		着工戸数(戸)	前年比
R6年 9月		68,548	▲0.5%
R6年 8月		66,819	▲5.0%
R6年 7月		68,014	▲0.2%
R6年 6月		66,285	▲6.6%
R6年 5月		65,921	▲5.2%
R6年 4月		76,572	+13.8%
R6年 4～9月計		412,159	▲0.7%
内訳			
持家		▲4.9%	貸家 +2.7%
給与		+43.3%	分譲 ▲2.6%

■ R6年度上期は11兆528億円で前年同期比8.8%の増加。月別では5月のみ減少し、その他の月はすべて増加、特に4月と7月は前年同比で大きく増加した。

月別		工事請負契約額(億円)	前年比
R6年 9月		22,528	+5.6%
R6年 8月		17,062	+4.5%
R6年 7月		21,795	+17.6%
R6年 6月		21,935	+7.1%
R6年 5月		12,252	▲6.7%
R6年 4月		14,954	+26.4%
R6年 4～9月計		110,528	+8.8%
R5年 4～9月計		101,585	▲1.3%
R4年 4～9月計		102,953	▲1.3%
年中期毎推移			
R6年 4～9月		110,528	+8.8%
R5年 4～9月		101,585	▲1.3%
R4年 4～9月		102,953	▲1.3%

■ R6年上期の倒産件数は4,990件で前年同期比18.5%増加。負債額は1兆3,294億円で同比16.2%減少。件数は4年連続増加しているが、大型倒産が減少したことで総額は減少。

月別推移		(金額単位：億円)		
各年4～9月	件数(件)	前年比	負債額	前年比
R6	4,990	+18.5%	13,294	▲16.2%
R5	4,208	+34.7%	15,868	▲10.1%
R4	3,123	+6.2%	17,657	3.0倍
R3	2,938	▲25.7%	5,784	▲3.7%
R2	3,956	▲5.1%	6,012	+6.4%

■ R5年の外国人延宿泊客数は60,056千人、前年同期比2.3倍。全月で前年比増加しており、新型コロナ前の水準に回復を続けている。国籍別では韓国が最も多く、台湾、中国、アメリカと続き、この上位4か国が全体の半数を占める。

○R5年度 下期月別推移			○R5年度下期 国籍別		
月	(千人)	前年比	国籍	(千人)	シェア
3月	10,825	1.7倍	韓国	9,178	15.2%
2月	9,686	1.9倍	台湾	8,634	14.3%
R6年1月	9,387	1.8倍	中国	8,343	13.8%
12月	10,267	2.1倍	アメリカ	5,852	9.7%
11月	9,737	3.1倍	香港	3,854	6.4%
10月	10,152	5.7倍	オーストラリア	2,704	4.5%
下期計	60,056	2.3倍	シンガポール	2,390	3.9%
○年別推移(1～12月)			タイ	2,383	3.9%
R5	95,027	6.9倍	その他	16,713	27.8%
R4	13,607	3.1倍	年合計	60,056	100%

全道

■ R6年4～9月着工戸数は16千戸で前年同期比2.7%減少。内訳別の前年比は貸家のみ増加、持家・給与・分譲は減少した。

月別		着工戸数(戸)	前年比
R6年 9月		2,340	+2.1%
R6年 8月		2,289	▲14.1%
R6年 7月		2,944	+8.0%
R6年 6月		2,715	▲23.8%
R6年 5月		2,600	+7.2%
R6年 4月		3,428	+10.6%
R6年 4～9月計		16,316	▲2.7%
内訳			
持家		▲10.2%	貸家 +7.5%
給与		▲46.4%	分譲 ▲21.3%

■ R6年度上期は9,093億円で前年同期比9.2%の増加。発注機関別では国と道が減少、地方公社と独立行政法人等が大きく増加した。

年別		前払保証請負額(百万円)	前年比
R6年 4～9月		909,314	+9.2%
R5年 4～9月		832,311	+14.7%
R4年 4～9月		725,256	▲6.0%

発注機関別 (R6年4～9月)		
	前払保証請負額(百万円)	前年比
国	179,831	▲2.6%
道内市町村	288,850	+8.8%
道	156,514	▲4.2%
独立行政法人等	202,669	+41.5%
地方公社	3,593	3.4倍

■ R6年上期の倒産件数は139件で前年同期比17.7%増加。負債総額は257億円で同比30.7%増加。件数、負債額ともに3年連続の増加、サービス業が最多となっている。

月別推移		(金額単位：億円)		
各年4～9月	件数(件)	前年比	負債額	前年比
R6	139	+17.7%	257	+30.7%
R5	118	+22.9%	197	+24.7%
R4	96	+47.6%	157	+66.4%
R3	65	▲31.5%	94	▲3.7%
R2	95	▲12.0%	98	▲33.3%

■ R5年外国人延宿泊客数は4,539千人、前年同期比2.0倍。月別で見ると10月の前年比が大幅に増加しており、全体として増加を続けている。国籍別では韓国、台湾が多く、中国、タイ、香港と続く。上位3か国のみで半数を占めるが、それ以外にも世界各国から訪れている。

○R5年度 下期月別推移			○R5年度下期 国籍別		
月	(千人)	前年比	国籍	(千人)	シェア
3月	585	1.4倍	韓国	937	20.6%
2月	1,015	1.7倍	台湾	916	20.1%
R6年1月	1,019	1.7倍	中国	597	13.1%
12月	1,009	1.9倍	タイ	357	7.8%
11月	414	4.1倍	香港	341	7.5%
10月	494	11.9倍	シンガポール	252	5.5%
下期計	4,539	2.0倍	アメリカ	176	3.8%
○年別推移(1～12月)			オーストラリア	164	3.6%
R5	6,184	8.3倍	その他	796	17.5%
R4	741	11.2倍	年合計	4,539	100%

根釧の経済概況（令和6年9月末基準）

住宅着工戸数

公共工事請負高

企業倒産動向

訪日外国人延宿泊客数

根室

■R6年上期合計は21戸で前年同期比21戸減少。前年比で6月が大幅に減少し、内訳別でもすべての利用別で減少した。

□根室市住宅着工戸数

		月別		
		戸数(戸)	前年比(戸)	前年比
R6年	9月	3	▲2	▲40.0%
R6年	8月	3	+1	+50.0%
R6年	7月	5	▲4	▲44.4%
R6年	6月	4	▲13	▲76.4%
R6年	5月	3	±0	前年同数
R6年	4月	3	▲3	▲50.0%

		年別・利用別					
		持家	貸家	給与	分譲	合計	前年比
R6年	4～9月	170	3	0	1	174	+314.2%
R5年	4～9月	23	15	2	2	42	+27.2%
R4年	4～9月	29	4	0	0	33	▲38.8%

■R6年上期合計は請負額217億円で前年同期比2.2%の減少。工事種類別で見ると、管が前年同期比61.5%、舗装が同比59.7%、電気が同比26.2%の大幅な増加、その他は減少。

		年別	
		前払保証請負額(百万円)	前年比
R6年	4～9月	21,754	▲2.2%
R5年	4～9月	22,265	+16.3%
R4年	4～9月	19,132	+1.4%
R3年	4～9月	18,855	▲10.3%

		工事種類別 (R6年4～9月)	
		前払保証請負額(百万円)	前年比
	一般土木	12,761	▲6.4%
	舗装	1,305	+59.7%
	建築	3,512	▲18.5%
	電気	1,222	+26.2%
	管	814	+61.5%

■R6年上期の根室管内は倒産件数1件、負債額は240百万円で、件数、負債額ともに減少した。

		年別			
		【根室管内】		【うち、根室市】	
各年(4～9月)	件数	負債額(百万円)	件数	負債額(百万円)	
R6	1	240	0	0	0
R5	3	490	1	350	
R4	0	0	0	0	0
R3	0	0	0	0	0
R2	2	33	0	0	0

■R5年下期の根室管内の外国人宿泊客数は7,190人、前年同期比1.5倍。国籍別では台湾、中国、アメリカが続いている。アジアの国々が大半を占めているが、根室管内は全道と比較して欧米の国が標記以外にも多いことが特徴として挙げられる。

○R5年度下期月別推移			○R5年度下期 国籍別		
月	(人)	前年比	国籍	(人)	シェア
3月	830	1.3倍	台湾	1,439	20.0%
2月	3,508	1.2倍	中国	1,331	18.5%
R6年1月	920	1.5倍	アメリカ	872	12.1%
12月	433	1.7倍	イギリス	472	6.5%
11月	443	2.3倍	香港	408	5.6%
10月	1,056	6倍	シンガポール	380	5.2%
下期計	7,190	1.5倍	韓国	357	4.9%
			ベトナム	240	3.3%
R5	12,460	2.4倍	その他	1,691	23.5%
R4	5,050	12.5倍	下期合計	7,190	100%

釧路

■R6年上半期合計は220戸で前年同期比75戸減少。全利用別で減少しており、特に貸家が大幅に減少した。

□釧路市住宅着工戸数

		月別		
		戸数(戸)	前年比(戸)	前年比
R6年	9月	18	▲11	▲37.9%
R6年	8月	41	▲1	▲2.3%
R6年	7月	32	▲38	▲54.2%
R6年	6月	84	+26	+44.8%
R6年	5月	22	▲45	▲67.1%
R6年	4月	23	▲6	▲20.6%

		年別・利用別					
		持家	貸家	給与	分譲	合計	前年比
R6年	4～9月	110	95	0	15	220	▲25.4%
R5年	4～9月	121	152	1	21	295	+0.3%
R4年	4～9月	165	99	0	30	294	▲22.0%

■R6年上期合計は請負額482億円で前年同期比27.8%の増加。工事種類別では、一般土木が前年同期比4.8%の減少、それ以外の工事が同比增加。

		年別	
		前払保証請負額(百万円)	前年比
R6年	4～9月	48,256	+27.8%
R5年	4～9月	37,753	+9.7%
R4年	4～9月	34,389	▲3.4%
R3年	4～9月	35,607	▲14.5%

		工事種類別 (R6年4～9月)	
		前払保証請負額(百万円)	前年比
	一般土木	17,064	▲4.8%
	舗装	2,421	+14.3%
	建築	18,351	2.0倍
	電気	4,053	+25.6%
	管	2,027	+27.4%

■R6年上期の釧路管内は倒産件数11件、負債額は475百万円で件数、金額ともに増加した。

		年別			
		【釧路管内】		【うち、釧路市】	
各年(4～9月)	件数	負債額(百万円)	件数	負債額(百万円)	
R6	11	475	10	392	
R5	8	285	7	201	
R4	7	2,493	6	1,893	
R3	5	443	5	443	
R2	8	753	4	284	

■R5年下期の釧路管内の外国人宿泊客数は82,801人で前年同期比1.8倍。国籍別では台湾などアジア圏のシェア率が高く、クルーズ船の寄港やイベント通常開催により、新型コロナウイルス以前の水準の8割程度まで回復してきている。

○R5年度下期月別推移			○R5年度下期 国籍別		
月	(人)	前年比	国籍	(人)	シェア
3月	11,422	+8.7%	台湾	35,666	43.0%
2月	29,544	1.8倍	中国	13,526	16.3%
R6年1月	12,907	1.4倍	香港	7,891	9.5%
12月	8,779	1.5倍	韓国	5,506	6.6%
11月	6,267	3.4倍	シンガポール	3,902	4.7%
10月	13,882	6.6倍	マレーシア	1,872	2.2%
下期計	82,801	1.8倍	アメリカ	1,722	2.0%
			タイ	1,026	1.2%
R5	139,891	2.9倍	その他	11,690	14.1%
R4	46,709	22.6倍	下期合計	82,801	100%